

令和7年蘭越町議会第4回臨時会会議録

○開会及び閉会

令和7年10月28日

開 会 午前10時00分

閉 会 午前10時31分

○出席及び欠席議員の氏名

出席（10名）	1番	佐々木雄三	2番	北山	正一
	3番	淀谷 融	5番	金安	英照
	6番	向山 博	7番	難波	修二
	8番	赤石 勝子	9番	柳谷	要
	10番	永井 浩	11番	熊谷	雅幸

欠席（ 0名）

○会議録署名議員

3番 淀谷 融 5番 金安 英照

○説明のために出席した者の職氏名

町 長	金 秀行	副町長	小林 俊也
教育長	渡邊 貢	総務課長	梅本 聖孝
税務課長	名越 義博	住民福祉課長	福原 明美
健康推進課長	谷口 敦哉	農林水産課長	田縁 幸哉
建設課長	北山 誠一	商工労働観光課長	水上 昭広
総務課参事	亀山 亨	教育次長	今野 満

○職務のため出席した事務局職員

事務局長 津村 智之 書記 及川 拓真

○議事日程

- | | |
|------|----------------------------------|
| 日程第1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第2 | 会期の決定 |
| 日程第3 | 町長の行政報告及び提案理由の大綱説明 |
| 日程第4 | 議案第1号 令和7年度蘭越町一般会計補正予算（第6号） |
| 日程第5 | 報告第1号 所管事務調査の結果報告について（総務文教常任委員会） |

○議長（熊谷雅幸） ただいまの出席議員は10名であります。

これより、令和7年第4回蘭越町議会臨時会を開催いたします。

ただちに本日の会議を開きます。

説明出席者につきましては、名簿をお手元に配布しておりますので、御了承願います。

○議長（熊谷雅幸） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第125条の規定により、3番淀谷議員、5番金安議員を指名いたします。

○議長（熊谷雅幸） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

議会運営委員長からお諮り願います。

7番難波議員。

○7番（難波修二） 令和7年第4回蘭越町議会臨時会の開会に当たりまして、議会運営委員会の決定事項をお知らせいたします。

会期は本日1日間といたします。

日程につきましては、皆様にお配りしております日程表のとおり行いたいと思いますので、議長より、よろしくお取り計らいのほどお願いをいたします。

以上でございます。

○議長（熊谷雅幸） お諮りします。

ただいま議会運営委員長からお諮りのとおり、本臨時会の会期は、本日1日間といたします。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、会期は1日間とすることに決定いたしました。

○議長（熊谷雅幸） 日程第3、町長の行政報告及び提案理由の大綱説明を願います。

金町長。

○町長（金秀行） おはようございます。

第4回蘭越町議会臨時会を招集しましたところ、大変御多用の中、議員

の皆様方の御出席をいただきまして、本臨時会が開催できますことを、まずもってお礼を申し上げたいと存じます。

第3回蘭越町議会定例会が開催されました9月16日以降の行政報告については、お手元に資料としてお配りしておりますが、詳細をお知らせしたい行事等について、口頭で報告を申し上げます。

1ページ、9月24日、水曜日、14時から、この日は都市部でらんこし米のおいしさを知ってもらおうと、札幌市の大丸札幌店正面入口において、らんこし米無料配布PR事業を行っております。

私と蘭越高校生5名、蘭越町議会熊谷議長、JAようてい水稻生産組合大友組合長にも参加をいただき、らんこし米300gを無料配布しました。配布前には200名ほどの行列ができ、用意した500袋のらんこし米は20分あまりでなくなり、昨今の米高騰などで盛況のうちに終了いたしましたところでございます。

9月25日、木曜日、8時30分から、この日は第28回こぶし杯パークゴルフ大会が昆布100年の森パークゴルフ場で開催され、大会長として歓迎の御挨拶を申し上げます。

当日は、雨にもかかわらず近隣町村から参加された95名の選手が優勝を目指しプレーを楽しめました。

また、競技終了後には、表彰式・抽選会が幽泉閣で行われ、らんこし米をはじめとする、蘭越町の特産品や入浴券など豪華賞品に感激をされていたところでございます。

9月26日、金曜日、14時から、この日は6月10日に発生した北海道電力株式会社蘭越発電所取水堰下流におけるサクラマス大量死に係る再発防止について、北電の湯浅水力部長、小樽開発建設佐々木次長、小樽建設管理部檜森事業室長ほかが来庁され、小林副町長と担当課職員が対応をしております。

北電からの具体策としては、カメラを新設して魚道や堰の越流を監視し、場合によっては排砂門から放流し早期の塵芥処理を行なうこと、週1回、

定期パトロールを実施することなど、さらには、小樽建設管理部から取水堰下流の深水が20cmから30cmの約100mの区間で掘削を行い、深水50cmが確保できるよう年度内に施工すること、さらに、北電から日本海さけ・ます増殖事業協会に対して、さけ・ます増殖事業に対する協力金を支払う旨の説明があったとの報告を受けたところでございます。

2ページ、10月6日、月曜日、11時から、この日は、6月に開催された第2回蘭越町議会定例会において、推薦同意をいただきました、人権擁護委員

徳光茂氏に対し、法務大臣からの委嘱状の伝達を行いました。

徳光茂氏においては、平成２６年から人権擁護委員として活動されており、町内の各小中学校で人権擁護教室を開催するなど、人権の大切さについて理解を深める様々な活動を行っており、今後においても啓発活動を活発に行っているところと期待しているところであります。

１０月７日、火曜日、１３時１０分から、この日は災害対策本部運営訓練を役場３階会議室で実施しております。

近年、全国各地で地震の発生や線状降水帯による豪雨、竜巻などの異常気象が頻発し、災害の少ない本町においても、今後、気候変動に伴う洪水や土砂災害などの発生が予見されることから、迅速適切な災害対策本部を立ち上げ、また、本部員が機能的に対処できるよう、渡島総合振興局の鎌田危機対策推進幹を講師に招き、本部員となる課・局長を対象に訓練を行っております。

前段に、災害対策本部の意義や組織、機能等の解説、先に発生しましたカムチャツカ半島地震における渡島地域での津波対応の振り返り等の防災講話や、各種災害状況に応じたグループ討議や発表など、講師の危機対策推進監の創意ある訓練の実施により、大変有意義な研修となったところでございます。

災害対応は、平時の訓練と備えがなければ危機への対策は難しいとのことでありますので、今後も緊急時を想定した各種訓練等を実施しながら、防災に関する職員の知識・技能の習得に努め、危機管理体制の構築を進めてまいります。

１０月１０日、金曜日、この日は、町内に居住する高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯などに対し地域において安定した生活を営んでいただけるよう、冬期間の暖房費用等の一部を助成する福祉灯油等助成券を交付いたしました。

当日は、対象の２９２世帯を町内を３地区に分け、各家庭を訪問させていただき、商工会の商品券を交付いたしましたところです。

１０月１１日、土曜日、９時から、この日は蘭越町スポーツ協会がスポーツの日を記念して、毎年開催しております蘭越町ロードレース大会に名誉大会長として参加いたしました。

今回で５９回目となる大会には、幼児の親子マラソンから一般５部、７０歳以上まで、保護者を含め９３名の選手が出場されました。

秋晴れの中、絶好のコンディションでレースは行われ、中学２年生男子、成年男子、一般男子５部の組では、大会記録が更新されており、出場された

選手は、ゴールを目指して心地よい汗をかきながら全力で駆け抜けておりました。

10月11日、土曜日と12日、この日は一般社団法人蘭越町観光物産協会主催による、第5回らんこし新米祭りが山村開発センター及び役場周辺で開催され、主催者から依頼されたじゃんけん大会のリーダーとして参加をしたところです。

主催者からの報告では、2日間で約6,400人が来場され、お米に関しましては町内から19件の生産者による新米が昨年より4トン多い、約13トン販売し、盛況に終了したと報告を受たところでございます。

次に、雪秩父既存源泉及び温泉利用検討業務中における労働災害について御報告を申し上げます。

令和7年10月2日、午後12時頃、鉄鉱泉既存井戸の現況調査及び改修作業に従事している事業者1名が、大湯沼の南方を流れる馬場川沿いでの作業現場で、観光客から作業員が倒れているとの知らせを受け、通報を受けた雪秩父職員とその場に居合わせた自衛隊員と処置を実施し、救急車及びドクターヘリで札幌医大へ搬送を行いました。

その後、事業者責任者、倶知安警察署警察官及び刑事で現場検証を行い、同日16時32分、搬送先で死亡が確認されたとの報告を受けました。

検視の結果、死因の原因は硫化水素中毒と判明し、併せて硫化水素致死量を一度に吸い込んだのではなく、高温泉湧出箇所から硫化水素を直接吸い込むような低い姿勢での相当程度の時間を継続して作業を行っていたため、徐々に体内に蓄積された結果、死に至ったものと判断をされました。

また、事業者代表取締役、主任技術者が蘭越町を訪問し、災害事故発生の経緯・状況・死亡原因の説明に見えられ、安全管理や再発防止に努めたいと報告を受けたところでございます。

以上、雪秩父既存源泉及び温泉利用検討業務中における労働災害の行政報告を終わります。

次に、米の出荷状況について御報告を申し上げます。

今年の天候についてですが、春先から高温傾向が続き、6月からはかなりの高温で推移し、日照時間は平年並み、降水量は7月に少なめとなりました。

水稻につきましては、高温から登熟が進み、平年より6日程度早い9月4日頃から本格的に収穫が行われ、品質については、胴割れ、白未熟などの発生も少なく、タンパク質含有率については平年並みで良好、収量についても平年並みで、主食用米の一等米出荷比率は100パーセントとなりました。これも生産者をはじめ、関係する皆さんの御努力の賜物と敬意を表するものでございます。

米の出荷状況ですが、今年、本町に示された生産の目安は、主食用は8,796.9トン、146,615俵で、加工用米などの主食用以外は2,805.8トン、46,763俵でございます。

生産出荷団体による出荷契約数量は55,986俵で、10月20日現在で68,850俵が出荷されております。

以上で、米の出荷状況についての行政報告を終わります。

次に、本日提案いたします議案の提案理由の大綱について、御説明申し上げます。

議案第1号につきましては、令和7年度蘭越町一般会計補正予算第6号でございますが、歳入歳出それぞれ4,369万3,000円の追加をお願いするものでございます。

歳出の主な内容ですが、総務費では備品購入費、パソコン・プリンタ259万5,000円の追加、施設解体撤去33万8,000円の追加など、合わせまして、445万6,000円の追加。衛生費では、浄化槽設置整備事業96万円の追加など、合わせまして144万6,000円の追加。農林水産業費では補助金、蘭越町米麦改良協会補助金54万3,000円の追加、スマート農業・農業支援サービス事業1,362万円の追加など、合わせまして1,426万6,000円の追加。土木費では、湯出の沢1号橋橋りょう補修工事1,194万6,000円の追加、河川維持費修繕料、普通河川赤井川護岸修理116万5,000円の追加など、合わせまして1,311万1,000円の追加。教育費では、学校給食センター費修繕料、スプーン洗浄機付浸漬装置取替修理ほか1,041万4,000円の追加、歳出総額4,369万3,000円を追加するものでございます。

歳入につきましては、スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業補助金1,362万円の追加、国勢調査委託金1,522千円の追加など、合わせまして歳入総額4,369万3,000円を充当するものでございます。

なお、詳細については、議案説明の時に担当課長から説明いたします。

以上で、行政報告及び提案理由の大綱の説明を終わります。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（熊谷雅幸） これをもって、町長の行政報告及び提案理由の大綱説明を終わります。

○議長（熊谷雅幸） 日程第4、議案第1号令和7年度蘭越町一般会計補正予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

梅本総務課長。

○総務課長（梅本聖孝） ただいま上程されました、議案第1号令和7年度蘭越町一般会計補正予算第6号につきまして、御説明いたします。

現在、この会計の予算の総額は82億8,137万円で、歳入歳出それぞれ4,369万3,000円を追加し、83億2,506万3,000円とするものです。

また、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正によるものです。

次に、債務負担行為は、第2表債務負担行為補正によるものです。3ページを御覧ください。

変更で、庁用のパソコン・プリンタを備荒資金組合を経由して取得することを念頭に894万3,000円の債務負担行為を措置していたところですが、職員が使用するパソコンについて、程度の良い中古パソコンを購入することで大幅なコストダウンが図れることがわかりましたので、当初予定していたパソコン分を減額します。その上で7ページを御覧ください。

2款総務費 1項総務管理費 1目総務管理費、補正額259万5,000円。17備品購入費として、中古パソコンとプリンタを計上するものです。

引き続き、事項別明細書の歳出を御説明いたします。

5目企画費、補正額33万8,000円。11役務費33万8,000円。施設解体撤去手数料で、曙バス停待合所が老朽化により使用が危険になったことから解体撤去を行うものです。

2款総務費 5項統計調査費 4目農林業センサス費、補正額1,000円。特定財源国道支出金は、同調査委託金です。10需用費1,000円。消耗品費です。

5目国勢調査費、補正額152万2,000円。特定財源国道支出金は、同調査委託金です。1報酬9万3,000円の減。指導員報酬、調査員報酬の減額です。3職員手当等105万2,000円。時間外勤務手当、管理職員特別勤務手当です。10需用費56万3,000円。消耗品費、次のページにいきまして、食糧費です。

4款衛生費 2項清掃費 3目浄化槽整備費、補正額144万6,000円。18負担金補助及び交付金144万6,000円。申請件数の増加により、浄化槽設置整備事業補助金、浄化槽排水設備改造資金補助金の予算を補正するものです。

6款農林水産業費 1項農業費 3目農業振興費、補正額1,416万3,000円。特定財源の国道支出金は、スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業補助金です。18負担金補助及び交付金1,416万3,000円。米麦改良協会補助金は、米価の高騰によりPR用のらんこし米購入に予算の不足を生じますので補正を行うものです。また、スマート農業・農業支援サービス事業は国の補助事業で、町内の農業者が大豆、水稻の作業を請け負う代行サービスを開始するに当たり、購入するロボットトラクターやコンバインの購入に対して2分の1を補助するものです。

11目農林産物加工施設費、補正額10万3,000円。10需用費10万3,000円。修繕料で、農林加工施策研究施設のボイラーが故障しましたので、その修繕を行います。

8款土木費 2項道路橋りょう費 5目橋りょう新設改良費、補正額1,194万6,000円。14工事請負費1,194万6,000円。湯出の沢1号橋橋りょう補修工事で、コルゲートパイプが劣化しており、基礎コンクリートも不安定な状況だったことから、第2回定例会におきまして予算を補正し、設計の委託をしておりました同橋りょうの工事請負費を予算措置するものです。

8款土木費 3項河川費 2目河川維持費、補正額116万5,000円。10需用費116万5,000円は、吉国にあります普通河川赤井川の護岸に一部損壊が見られることから拡大を防ぐため修繕を行います。

10款教育費 5項保健体育費 3目学校給食センター費、補正額1,041万4,000円。10需用費1,041万4,000円は、スプーン洗浄機付浸漬装置と蒸気ボイラーのマイコン基盤が故障いたしましたので修理をするものです。

続きまして、歳入を説明します。6ページを御覧願います。

16款、17款は、説明を省略いたします。

21款繰越金 1項繰越金 1目繰越金、補正額2,855万円。1繰越金前年度繰越金です。

以上で説明を終わります。

よろしく御審議いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（熊谷雅幸） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終了いたします。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第1号令和7年度蘭越町一般会計補正予算を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○議長（熊谷雅幸） 日程第5、報告第1号所管事務調査の結果報告について、総務文教常任委員長から報告願います。

3番淀谷議員。

○3番（淀谷融） ただいま上程されました、報告第1号総務文教常任委員会の所管事務調査の結果について、御報告いたします。

令和7年9月3日に健康推進課及び住民福祉課の所管事務調査を行いました。皆様に調査報告書をお配りしておりますので、要点のみ報告させていただきます。

まずはじめに、健康推進課の所管事務調査について報告いたします。

1点目の高齢者生活福祉センターの運営状況等についてですが、本施設は、令和4年度にめなデイサービス部門と統合し、利用定員30名となっています。

令和4年度の利用延べ人数は5,083人、令和5年度5,380人、令和6年度5,639人と、年間延べ利用者数は年々増加していましたが、令和7年度は8月末現在2,167人となっており、前年度に比べ減少傾向で推移していると報告がありました。

また、現在17名の職員体制で運営されており、介護員基準は満たしているものの、職員の代休振替や入浴サービス提供においては介護員が不足している現状であるとのことでした。

事業所として人員不足解消に向けて工夫をしながら取り組んでおり、午前・午後の入浴サービスとレクリエーション活動を、午前中に入浴サービス提供、午後からはレクリエーション活動に変更するなど、最低限の職員でサービス提供をされていることを評価いたします。

課題は、介護人材の確保であり、ここ数年継続して募集に努めていますが、やはり難しい状況であるとのことでした。

今後も高齢化の進行によりサービスの需要増加が見込まれるため、難しい面もありますが、引き続き人材の確保に努められ、より良いサービス向上に取り組んでいただきたい。

次に、訪問介護事業所の運営状況等についてですが、令和４年度には３４名の利用者がおりましたが、令和５年度、令和６年度は２０名程度に減少しました。理由としては施設入所や途中でやめられた方がおり、令和７年度８月末現在の利用者数は１７名とのことでした。

サービスの内容別利用者数は、令和４年度の生活援助利用者数２０人、身体介護利用者数１４名でしたが、令和７年度の生活援助利用者数は７人、身体介護利用者数は１０人とのことでした。

また、通院介助については、利用者数はほぼ増えておりませんが、令和６年度からは週２回の利用者受け入れにより延べ回数が増え、今後も増加する見込みであると報告がありました。

職員数については現在３名ですが、基準によると訪問介護員が常勤加算で２．５人以上ということで３名が必要で、その内サービス提供責任者１名の配置が必要であることから、現状においては訪問介護員が不足となっていると報告がありました。

このような厳しい状況の中で、事業所として人員不足解消に向けて介護度が高い利用者の優先契約、利用回数の調整、通院移送時における職員による福祉有償運送運転者講習受講などに取り組まれて対応されていることを評価いたします。

課題は、やはり介護人材の確保であり、介護職員の処遇改善が必要と思われますが、昨年の訪問介護の基本報酬引き下げによって全国的に経営困難に陥り、事業所の廃止等も多いようです。

訪問介護事業は今後も必要でありますので、事業所の継続に向けて、介護職員への財政支援や介護報酬の引き上げについて、国や関係機関への要望活動をさらに講ずるべきと考えます。

続いて、住民福祉課の所管事務調査の報告をいたします。

１点目の蘭越町子ども・子育て支援事業計画についてですが、計画の基本的な考え方として、子どもを大切にする、安心して産み育てる環境の整備に努める、地域の特色を生かすことの３つの考え方を念頭に、社会にとって子どもは希望であり、未来の力であり、未来の投資であることから、子ども・子育てを地域社会全体で支援していくと説明がございました。

また、基本的にはこれまでの第２期計画を継続しつつ、地域子ども・子育て支援事業に新たに６事業、子育て世帯訪問支援・児童育成支援拠点・親子関係形成支援・産後ケア・妊婦等包括相談支援・乳児等の通園支援を追加し取り組んでい

くと報告がありました。

本計画に掲げられた各施策に取り組まれ、子ども・子育て支援の充実に向けて展開されていくことを期待いたします。

次に、新設ベアーズこども園の運営状況等についてです。

平成25年5月、定員5名の家庭的保育事業からスタートし、昨年度から新たな園舎整備を進められ、今年の4月から定員19名の小規模保育所B型に認可変更して新たにスタートされました。

総事業費は1億1,550万円、国費が6,352万5,000円、自己資金が2,310万円、それで、町から2,887万5,000円が補助され、このうち子ども・子育て基金から1,000万円が充当されているとのことでした。

現在の入所児童者数は11名、職員は14名で運営されていると説明がありました。

また、町から子育て支援短時間利用事業も受託しており、近年は二セコエリアでサービス業に従事する方の利用が増加しており、利用者からは高く評価されていると考えます。

担当者からの説明後、こども園を見学いたしました。園内には見守りカメラが設置されており、児童の安全の確保等のために、転倒や急な体調変化を事務所内でリアルタイムに確認できるシステム整備がされておりました。

また、児童が気軽に遊ぶことのできるボルダリングの施設なども整備されておりました。

入所児童は、父母の一方が外国籍である児童も多く、大変国際色のあふれる園で、管理者からは児童が卒園されるときには、とても日本語を上手に話せるようになっているとのことがありました。

今後も、園児たちが楽しく安全に活動でき、国際交流が深められるこども園として環境整備に努められることを希望いたします。

この度の調査をもちまして、当委員会の所管事務調査は全て終了いたしました。

各担当課の職員の皆様の御協力に感謝し、当委員会の最終報告といたします。

以上、総務文教常任委員会の所管事務調査の報告を終わります。

○議長（熊谷雅幸） これをもって、報告を終わります。

○議長（熊谷雅幸） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、令和7年第4回蘭越町議会臨時会を閉会いたします。

午前 10 時 31 分 閉会